※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	年次	1
使用教科書	新編 言語文化　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	みるみる覚える 古文単語 300+敬語 30 三訂版（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・講義形式・実習形式で授業を進めます。小テストやレポート作成・演習・発表等を行うこともあります。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・教科書・副教材・ノート・筆記用具の他に、Chromebook を使うこともあります。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期（後期）	作品の主題について考え、述べる ［教材］ 「漢字と仮名の使い分け」	a：日常使っている言葉を見つめ直す。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、要旨や要点を把握している。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	表現に則して文学作品の世界を味わう ［教材］ 「羅生門」	a：難しい漢語など、注や辞書を手がかりにして、その意味を理解している。 b[読]：下人がとった行動の背後にある考え方を読み取り、人間の生き方について考えている。 b[書]：生きることについて自らの考えを深め、相手に伝わるよう効果的に表現することができている。 c：主体的に知識・技能を身に付けようとしたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	文学作品を原作と比較する ［教材］今昔物語集「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」	a：古典特有の表現などについて理解することができる。 b[読]：「羅生門」と比較することで、両作品の理解を深める。 c：主体的に知識・技能を身に付けようとしたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）
	古文の響きやリズムを味わい、古典の世界に親しむ。 古文の特徴を知る。 ［教材］ 古文冒頭選 古文の言葉と仮名遣い	a：文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b：「読」作品や文章に表現されているものの見方・感じ方・考え方を捉え、内容を解釈している。 c：古文を読むことに興味を持ち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	古典を現代の言葉で書き換える ［教材］ 徒然草「高名の木登り」	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 b[書]：自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	音読し、古文の読みに慣れる ［教材］ 伊勢物語「芥川」	a：古典特有の表現などについて理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしている。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	漢文の訓読のきまりについて理解する ［教材］ 訓読のきまり 再読文字	a：我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組んでいる。	行動の観察（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	「守株」の意味を理解する。 この話の教訓の意義を理解する。 ［教材］ 韓非子「守株」	a：本文を通じて文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現について理解している。 b：「読」内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。	行動の観察（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	行動の観察（ノート・ワークシート・等）
	「現代に生きる言葉」を知る ［教材］ 戦国策「蛇足」	a：古典特有の表現などについて理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組んでいる。	記述の点検（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）定期考査	記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等）

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入しています。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　55　）時間